

第51回情報交流会の会 実施報告書（HP用）

開催日時	2022年6月4日(土) 14:00～17:00	
名称・主催	第51回 情報交流会の会・令和3年度 技術士試験合格者祝賀会 主催：公益社団法人日本技術士会 神奈川県支部	
開催場所	会場（波止場会館）とWEBの併用開催	
行事内容	1)神奈川県支部（各委員会）からの活動報告 2)会員によるCPD講演 3)合格者自己紹介	司会：小原 司会：千葉
参加人数	参加者 61名(正 32, 準 1, 合格者 28)、(会場参加 43, Web 参加 18) 合格者 28(一次 11, 二次 17)	

〈開催概要〉

【第51回情報交流会の会・令和3年度技術士試験合格者祝賀会】

<第1部>支部からの挨拶・活動報告（司会：小原）

■開会挨拶(松田支部長)

日本技術士会と同神奈川県支部の創立から現在に至るまでの経緯について、関係した著名人の紹介、技術士全国大会ならびに公益財団法人化などに触れながら詳細な説明がありました。

■支部活動報告

総務委員会（小原）、研修委員会（嶋田）、技術士活性化委員会（藤井）ならびに社会委員会（太田）から今後の行事予定等について説明がありました。詳細は支部HPを確認してもらいたいとのことです。

<第2部>会員によるCPD講演（司会：千葉〔支部 理科チームリーダー〕）

■講演① 「口紅の魅力を高める基礎技術の紹介」

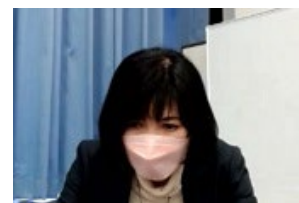
講師 花王㈱メイクアップ研究所上席主任研究員 **依田恵子**（支部 理科チームメンバー）

講師は大学院修了後、花王㈱に入社され化粧品の技術開発を担う研究所で業務を進められています。技術士取得の動機は、学協会の委員として講演や執筆を専門家に依頼する中でその資格の存在を知ったことがきっかけとのことです。

会社は多様な商品開発を手掛けていて、化粧品分野では23品目のブランドを展開して消費者ニーズに答えているそうです。

化粧品分野の中心である「口紅」におけるメイクアップ製剤の説明では、基材と粉体の量比率によってさまざまな商品開発に繋げている状況について、口紅の構成成分の説明では、基材（液体油と個体脂の役割）や着色・光輝材（顔料ペーストと光輝材パール）の役割について詳しい解説がありました。

そして、口紅に必要な基本性能である、強度、油保機能、美しい外観、品質の安定性、使い心地、保湿ならびに皮膚安定性など多様な研究に時間をかけているそうです。今後とも技術士会をはじめとして社外関係団体や関係者との交流・情報交換に務めながら研鑽を継続していきたいとのことです。



■講演② 「科学をテーマに語り合うサイエンスカフェの紹介」

講師 神奈川県支部 科学技術振興支援小委員会理科チーム **岩崎誠司**

講師は勤務先において社内品質管理教育等を担当され、その業務の傍ら、青少年健全育成（ボーイスカウト）への取組やスポーツイベントのボランティア活動にも積極的に参加されているとのことです。

サイエンスカフェでは、「くつろいだ雰囲気の中で科学をテーマに話し合う」、「話題提供者と参加者の双方向の対話に重点を置く」をモットーに活動展開をしているそうです。

コロナ禍の前に実施した2016年のサイエンスカフェでは、「魚と日本人の深いかわり」による冷凍技術の躍進の紹介、2018年の「大予測 20年後に生まれる仕事」では、人間の能力の拡張・拡大の歴史とAI技術に対する期待と不安、といった内容で、グループ討議を行って、その結果を神奈川県青少年センターに届けて活用してもらうようにしているとのことです。

最後に2022年度に予定している行事として、「海外の教育に対する技術者の関わり」と題して、語らいの場を提供したいと考えているとのことです。技術者が教育の分野でどのような活動ができるのか、本日参加している皆様も是非参加していただいで一緒に考えてもらえる機会にしたいとのことです。



<第3部>合格祝賀会 技術士合格者自己紹介

新試験合格者からの自己紹介をもって祝賀会としました。

【一次試験合格者の部門】11名：機械3、電気電子2、建設2、化学1、上下水道1、経営工学1、情報工学1

【二次試験合格者の部門】17名：機械7、建設3、電気電子2、金属2、経営工学2、生物工学+総合技術管理1

閉会：進行（石井）より閉会の挨拶があり会の終了が告げられました。（17時00分）